

●この説明書は、取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠ **注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ **注意**

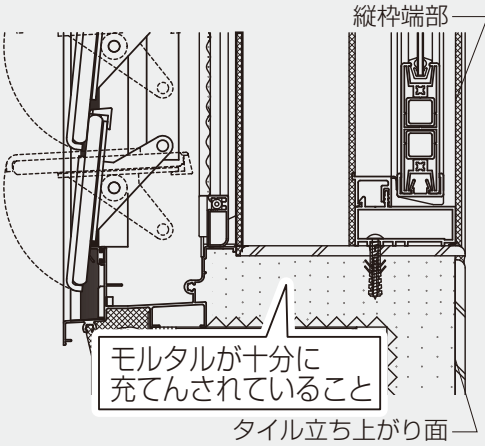


- 取付けは対応する人数で行なってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 枠・障子の外れや脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・取付け面のタイルが製品重量に耐えられることを確認してください。
 - ・開口部の水勾配が1°以上の場合は、枠が水平になるように調整材等を張付けてください。
 - ・樹脂額縁やタイルにねじで固定後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・アルミ額縁・タイル四方アルミ額縁の場合は別売品の①ウェルナットをご使用ください。
 - ・必ず指定の取付けねじを指定の本数使用して取付けてください。
 - ・丁番固定ねじ・ハンドル受け固定ねじは必ず取付けてください。
 - ・枠を**⑥**トラスタッピンねじ、**⑦**特平タッピンねじ(アルミ額縁の場合、**⑩**トラス小ねじ、**⑪**特平小ねじ)で固定する際は推奨トルク2.0N・m[20kgf・cm]のトルクで締め付けてください。
- タイル四方額縁・アルミ四方額縁が取付けされている場合は、必ず別売品の「アルミ額縁用取付けねじセット」をご使用してください。枠が額縁に確実に固定できず外れるおそれがあります。



- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・上、下、縦枠のタイル・樹脂額縁・アルミ額縁のねじ固定は、必ず右表の通り下穴の径のドリルで下穴(タイルの場合は深さ25～30mm)をあけ、右表のプラグを差込んでコーキング材を充てんしてください。タイルの場合はコーキング材を充てんした後に右表のプラグを差込んでから行なってください。
 - ・タイルからフィッシャープラグが飛び出ないようにしてください。
- タイルへ下穴をあける際は、タイルの端部を避け、必ず磁器タイル用ドリルを使用してください。タイルが割れることがあります。

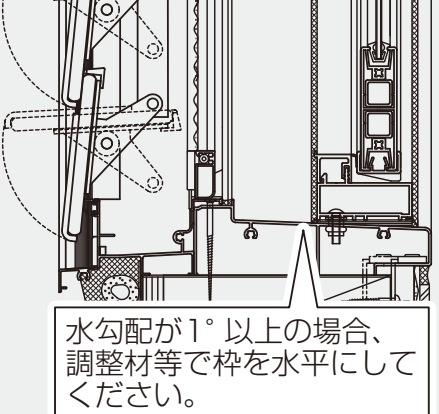
取付け面	下穴の径	プラグ
樹脂額縁	φ5	③樹脂額縁用取付プラグ
タイル	φ5	④フィッシャープラグ
アルミ・タイル四方アルミ額縁	φ8	①ウェルナット



縦枠端部

モルタルが十分に充てんされていること

タイル立ち上がり面



水勾配が1°以上の場合、調整材等で枠を水平にしてください。

■取付け上のおお願い

●図面中の記号は使用するねじ・部品の種類を表します。「■使用部品一覧表」を参照の上で使用ください。

●上・下枠は水系などを張って、曲がりのないように取付けてください。

●ソリや伸びを防止するため、直射日光に当てた状態で放置しないでください。

●組立ての際は、樹脂が割れる可能性があるため、樹脂部材をハンマーで直接たたかないでください。

●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。軽い傷がついてしまった場合は、市販のメラミンフォームなどの研磨材で軽くこすると目立たなくなります。

●樹脂部材ねじ止めの際は、樹脂が割れたり、ねじが貫通したりする可能性があるため、締めすぎないでください。

●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

●窓枠強度不足防止のため、ねじで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

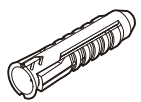
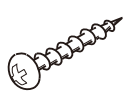
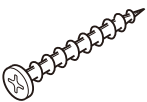
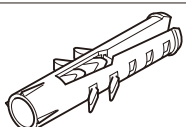
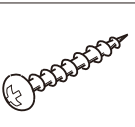
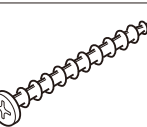
※下記内容は重要事項ですので、必ず点検してください。

NO.	チェック内容	
1	指定のプラグ、ねじを使用したか	☐
2	コーキング処理をしたか	☐

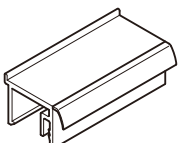
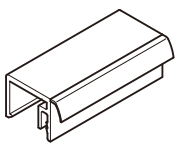
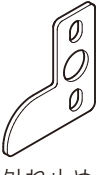
■使用部品一覧表

※必ず指定のねじで取付けてください。

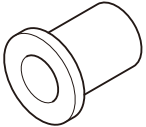
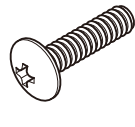
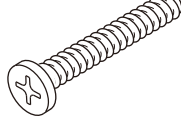
■枠取付けねじ部品セット

①	②	③
ユニット納まり		
		
樹脂額縁用取付プラグ	トラスタッピンねじ φ4×25	特平タッピンねじ φ4×35
④	⑤	⑥
タイル納まり		
		
フィッシャープラグ	トラスタッピンねじ φ4×30	特平タッピンねじ φ4×50

■障子取付けねじ部品セット

⑦	⑧	⑨
		
丁番調整用ワッシャー	戸当り材(横用)	戸当り材(縦用)
⑩	⑪	
		
外れ止め	バインド小ねじ M4×10	

■アルミ額縁取付けねじセット (別売品)

⑫	⑬	⑭
		
ウェルナット	トラス小ねじ φ4×16	特平小ねじ φ4×30

■取付け手順

1取付け開口部の確認

- ①取付ける開口部H1～H3、W1～W3の寸法差が3mm以内であることを確認してください。(図1)
②取付ける開口部のそれぞれのたわみが、図2に示す量以内であることを確認してください。(図2)
③取付け開口部の対角差が3mm以内である事を確認してください。(図3)
※開口部の寸法差やたわみが限度をこえている場合は、枠との間に平板を敷いて調整してください。
(その際発生した枠と開口のすき間には、コーキング材でふさいでください。)

※開口寸法は、調整後の寸法で測定してください。

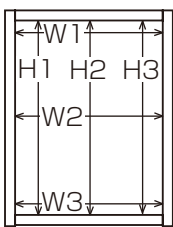


図1

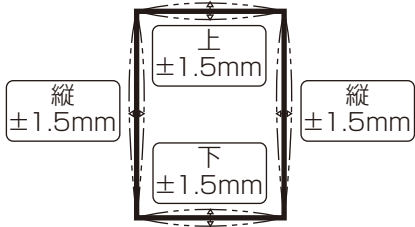


図2

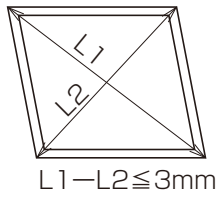


図3

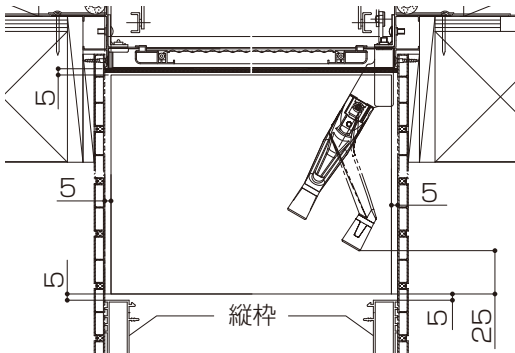
▲注意



●開口部の水勾配が1°以上の場合は、枠が水平になるように調整材等を敷いて調整してください。枠・障子の外れや脱落の原因になるおそれがあります。

お願い

※枠取付け時に、取付け面のユニットバスの注意・お願いラベルが隠れる場合は、お施主さまに確認して対応方法を相談してください。

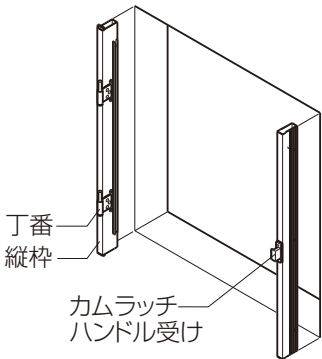


2段差緩和部材の取付け(別売品)

- 段差緩和部材をご使用の方は枠取付け前に取付けてください。
①段差緩和部材の裏のリケイ紙を剥がし、左右のチリ(5mm)を合わせながら取付けてください。
②枠をあてがい、見込方向の調整が必要な場合にはカットしてください。
※段差緩和部材をカットする場合は、両面テープをカッターでカットしてから、Pカッターなどでカットしてください。
※コーキングは製品を取付け後に行ってください。

3縦枠の取付け

※アルミ額縁の場合は、別売品の取付け部品セット内のウェルナット・取付けねじをご使用ください。

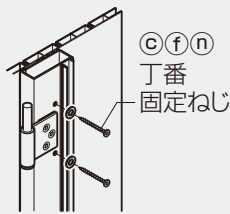


▲注意

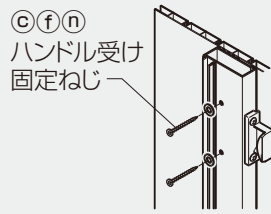


●丁番固定ねじ・ハンドル受け固定ねじは必ず取付けてください。障子が脱落するおそれがあります。

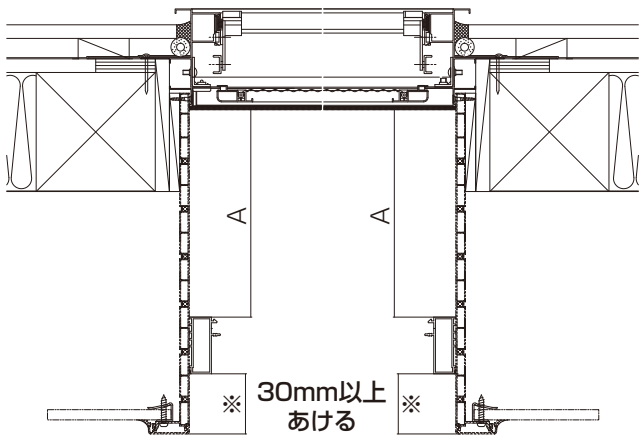
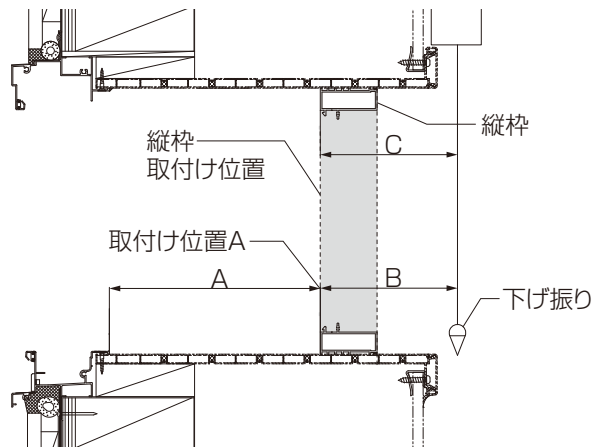
■丁番部詳細図



■ハンドル受け部詳細図



- ①開口部に縦枠をあて、縦枠下部と外窓の距離(A寸法)は、左右で合わせてください。下げ振り等を使用して、B寸法とC寸法を揃え、縦枠が垂直に取付けられるように縦枠にあいている穴(枠取付け穴、丁番・ハンドル受け裏板固定取付け穴)に合わせて下穴をけがきます。



※縦枠の位置出しは下図のように窓枠室内側から一定にしてください。
※樹脂額縁の場合、室内面から30mm以上あけてください。

お願い

※縦枠はけがき線に合わせて垂直かつ曲がりのないように固定してください。光漏れや漏気が発生することがあります。

- ②けがきに合わせて下表の通り下穴をあけます。(タイルの場合、深さ25～30mm)タイルの場合はコーキング材を充てんします。
※タイルはタイル用ドリルを使用してください。
③下表プラグを下穴に差込みます。(タイルから飛び出ないようにしてください。)
④下表のプラグの中にコーキング材を充てんします。
⑤もう一度縦枠をあて、b e m、c f nのねじで固定します。

取付け面	下穴の径	プラグ
樹脂額縁	φ 5	①樹脂額縁用取付プラグ
タイル	φ 5	②フィッシャープラグ
アルミ・タイル四方 アルミ額縁	φ 8	③ウェルナット

■樹脂額縁の場合

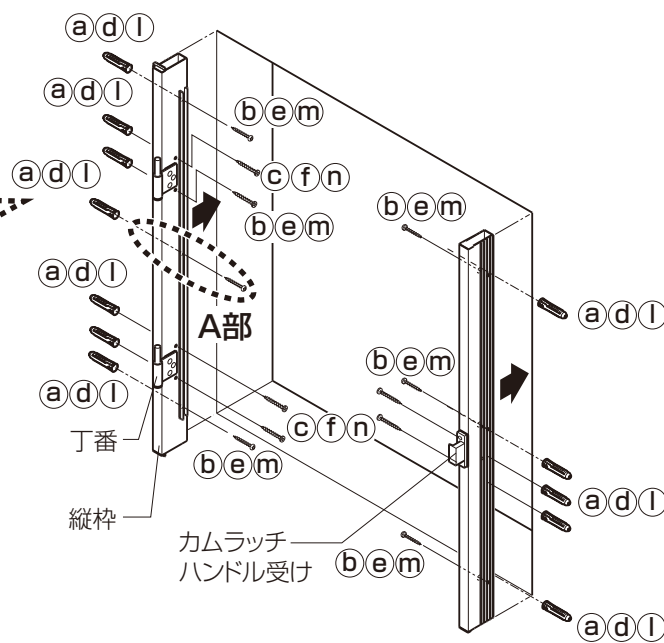
- ①樹脂額縁用取付プラグ (ユニット納まり)
②トラスタッピンねじ φ4×25
③特平タッピンねじ φ4×35

■タイルの場合

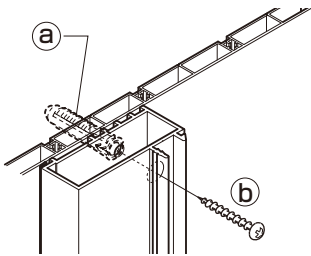
- ④フィッシャープラグ (タイル納まり)
⑤トラスタッピンねじ φ4×30
⑥特平タッピンねじ φ4×50

■アルミ額縁の場合

- ⑦ウェルナット
⑧トラス小ねじφ4×16
⑨特平小ねじφ4×30



■A部詳細図



■樹脂額縁の場合

③樹脂額縁用取付プラグ
(ユニット納まり)

④トラスタッピンねじ
φ4×25

⑤特平タッピンねじ
φ4×35

■タイルの場合

⑥フィッシャープラグ
(タイル納まり)

⑦トラスタッピンねじ
φ4×30

⑧特平タッピンねじ
φ4×50

■アルミ額縁の場合

⑨ウェルナット

⑩トラス小ねじ
φ4×16

⑪特平小ねじ
φ4×30

①穴に合わせて下穴をけがきます。

下穴を
けがく

枠取付け穴

丁番・
ハンドル
受け固定取付け穴

縦枠

②ドリルで穴をあけ切粉を払います。タイルの場合はコーキング材を充てんします。

ドリル

コーキング材

25～30mm

③④⑤プラグを下穴に差込みます。

コーキング材はプラグの周りを埋めるように充てんしてください。

コーキング材

コーキング材

④コーキング材を充てんします。プラグの中とその周りに充てんしてください。

コーキング材

コーキング材

⑤枠取付けねじと丁番固定ねじ、ハンドル受け固定ねじでねじ止めします。

⑥⑦⑧トラスタッピンねじ

⑨⑩⑪特平タッピンねじ

▲ 注 意

●枠・障子の外れや脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・樹脂額縁やタイルにねじで固定後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

・アルミ額縁・タイル四方アルミ額縁の場合は別売品の①ウェルナットをご使用ください。

・枠を⑥⑦トラスタッピンねじ、⑧⑨特平タッピンねじ(アルミ額縁の場合、⑩トラス小ねじ、⑪特平小ねじ)で固定する際は推奨トルク2.0N・m[20kgf・cm]のトルクで締め付けてください。

●漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。

・上、下、縦枠のタイル・樹脂額縁・アルミ額縁のねじ固定は、必ず右表の通り下穴の径のドリルで下穴(タイルの場合は深さ25～30mm)をあけ、右表のプラグを差込んでコーキング材を充てんしてください。タイルの場合はコーキング材を充てんした後に右表のプラグを差込んでから行なってください。

・タイルからフィッシャープラグが飛び出ないようにしてください。

●タイルへ下穴をあける際は、タイルの端部を避け、必ず磁器タイル用ドリルを使用してください。タイルが割れることがあります。

取付け面	下穴の径	プラグ
樹脂額縁	φ 5	③樹脂額縁用取付プラグ
タイル	φ 5	⑥フィッシャープラグ
アルミ・タイル四方アルミ額縁	φ 8	①ウェルナット

※アルミ額縁の場合は、別売品の取付け部品セット内のウェルナット・取付けねじをご使用ください。

4 上下枠の取付け

- 開口部に縦枠と段差がないように上下枠をはめ込み、以下の手順で縦枠と同様に取付けます。
- 上下枠にあいている穴に合わせて下穴をけがきます。
- けがきにに合わせて右表の下穴をあけます。(タイルの場合、深さ25～30mm)タイルの場合はコーキング材を充てんします。
- 右表のプラグを下穴に差込みます。(タイルから飛び出ないようにしてください。)
- 右表のプラグの中にコーキング材を充てんします。
- もう一度上下枠をあて、⑥⑦⑩のねじで固定します。

取付け面	下穴の径	プラグ
樹脂額縁	φ 5	③樹脂額縁用取付プラグ
タイル	φ 5	⑥フィッシャープラグ
アルミ・タイル四方アルミ額縁	φ 8	①ウェルナット

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

縦枠

下枠

■B部詳細図

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

■取付け上の留意事項

※縦枠と上下枠の取合い部に段差がないように取付けてください。

取合い部に段差がないようにする。

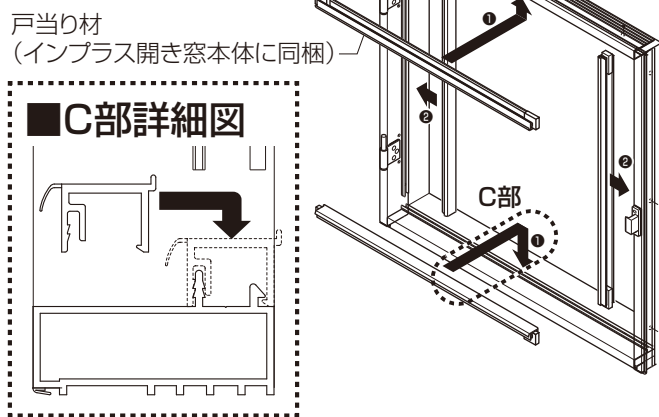
縦枠

下枠

3/4

5 戸当り材の取付け

- ①戸当り材を上下→縦の順に取付けます。
※かたい場合は当て木をしてハンマーでたたいて取付けてください。



お願い

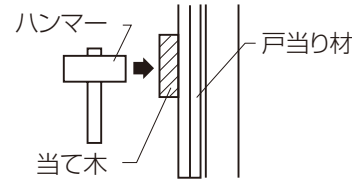
※戸当り材は縦用と横用が2本ずつあります。縦用と横用で長さが異なりますので、サッシ寸法を参考に長さを確認して取付けてください。

	断面図	戸当り材長さ(mm)
戸当り材(横用)		W-39
戸当り材(縦用)		H-69

※H・Wはサッシ基本寸法を示します。

お願い

※樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れることがあります。

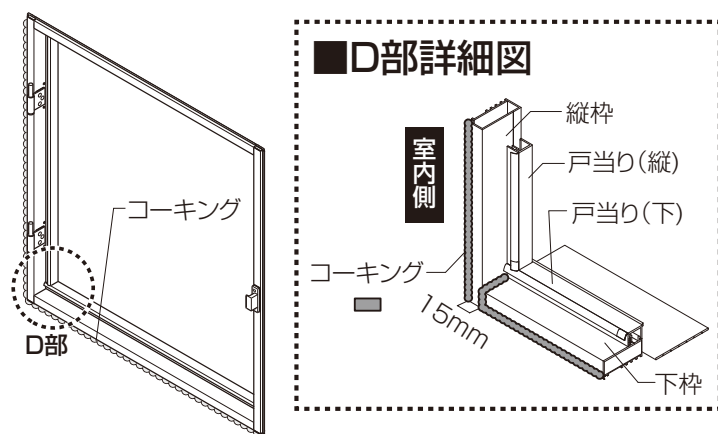


お願い

※吊込みの際、障子と上額縁が干渉することがあります。その場合は枠の上部丁番を一度外して吊込んでください。
※丁番は丁番固定ねじ③(f)(n)が付いていることを確認してから外してください。丁番固定ねじを付けずに丁番を外すと裏板が落下し、丁番を再び取付けることができなくなります。

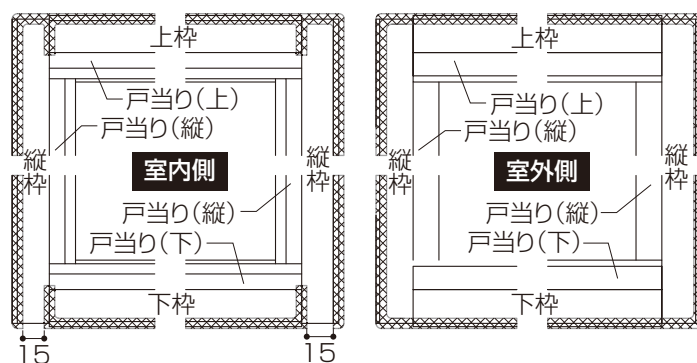


6 枠まわりのコーキング処理



お願い

※外窓や取付け面のコーキングが切れていないか確認し、切れている場合はコーキング処理をしてください。



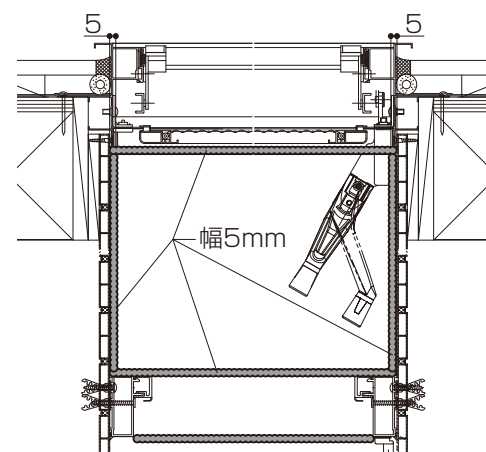
枠の四周にマスキングテープを貼り、コーキング処理をしてください。排水経路を確保するため、縦枠の下部両端部15mmはシーリングしないでください。

お願い

※丁番とハンドル受け部のコーキングがしづらい場合は、丁番とハンドル受けを外してコーキング処理をしてください。

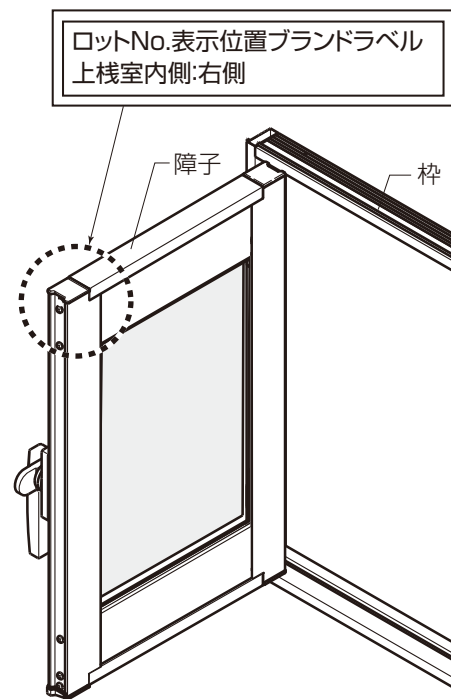
■段差緩和部材をご使用の場合

部材まわりもコーキングで充てんしてください。



7 障子の吊込み・調整方法

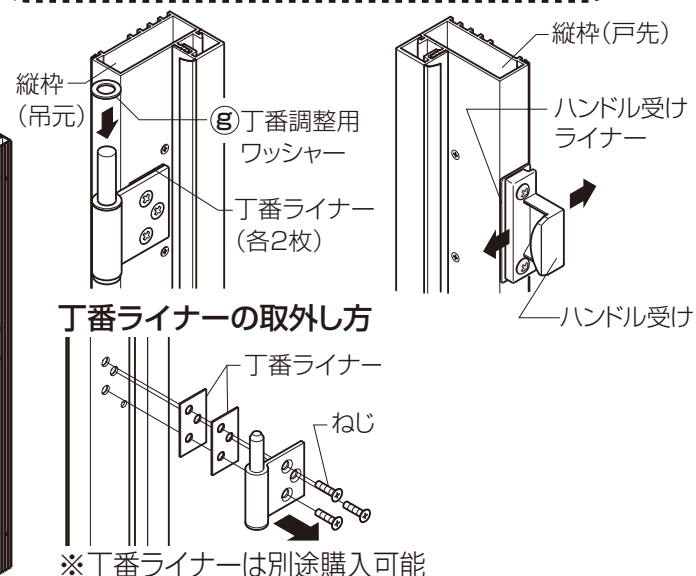
- ①障子を90°以上開き、上の丁番から順に位置を合わせて吊込みます。
②枠と障子の状態を確認し、丁番の調整を行います。
③うまく閉まらない場合には、カムラッチハンドルの調整を行ってください。



●丁番の調整

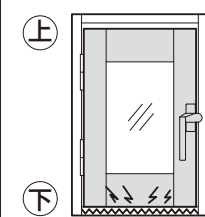
お願い

※すき間防止のため必ず調整してください。



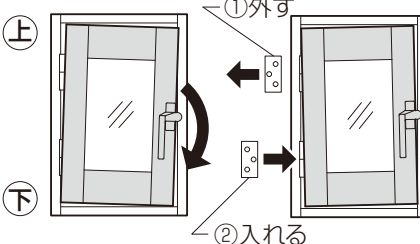
※d-banライナーは別途購入可能

障子が下枠に当たる場合



上下の丁番にd-banワッシャーを入れる。障子全体が1mm上がる。

障子の戸先が下がっている場合



①上のd-banライナーを外すと戸先が上がる。
②外したd-banライナーを下のd-banに入れるとさらに戸先が上がる。

お願い

※d-banライナーを3枚以上入れると障子が枠に干渉することがありますので、d-banライナーは2枚以下にしてください。

●カムラッチハンドルの調整

・ハンドル受けライナー

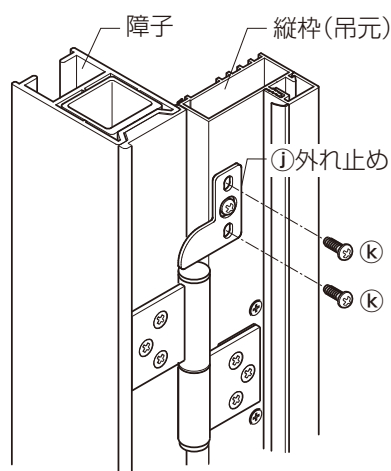
取外すことで、戸先の引寄せを強くすることができます。

・ハンドル受け

取付けねじをゆるめて、左右に動かすことでハンドルと受けのかかり代を調整できます。

8 障子外れ止めの取付け

- 障子を90°以上開き、外れ止めを取付けます。



お願い

※右図のように外れ止めを上下に調整し取付けてください。
※裏板固定ねじは取外さないでください。外れ止めが取付けできなくなります。
※外れ止め取付け部の穴がズレている場合は、裏板固定ねじを半回転ゆるめてから外れ止めを取付けてください。外れ止め取付け後、裏板固定ねじを締直してください。

